「フィンドレー大学への協定留学 月例報告書(8月分)」

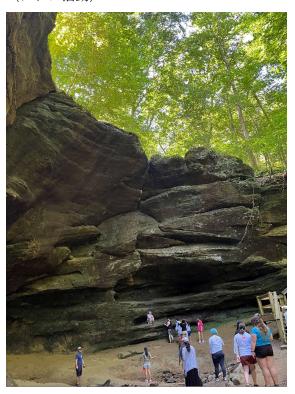
留学先大学:フィンドレー大学

請井莉子

〈到着から現在の状況〉

デトロイト空港に到着したのが 6 時くらいで、そこから 2 時間くらい空港で他の国の留学生や迎えのバスを待っていました。留学にきてからもうすでに 3 週間ほど経ちますが、未だに学校生活には慣れていないです。アメリカに来てから最初の 1 週間から 2 週間ほどの間は、学校主催のイベントが多くあり、現地の学生と関わることのできる機会が多く与えられました。夜中の 1 時に大学に到着して、次の日から朝から夜まで予定がきっちりあり、その中で多くの現地の学生と言語の壁を感じながら、なんとか仲良くなろうとしていたため最初の 2 週間が特に精神的にも体力的にも厳しい日々でした。それが原因か私はアメリカについて 1 週間で熱を出して体調を崩しました。未だに言語の壁を感じてストレスがありますが、前に比べたらまだ楽になったと思います。

〈クラブ活動〉



フィンドレー大学には様々なクラブがありますが、私が参加しているのはコーラスクラブ、KPOP クラブ、日本語文化クラブです。今の時点で活動が開始しているのは、コーラスクラブと KPOP クラブです。コーラスクラブは、コーラスの講義でもあるため、私はコーラスの授業を単位認定の科目として履修しています。KPOP クラブは8月24日水曜日に第一回

目の活動がありました。人数は全部で15人ほど、そのうち日本人は7人ほどでした。しかし内容は私たちが想像していたよりもマニアックな内容だったため、日本人のうち何人かはやめると思います。8月26日金曜日の授業後15時から27日土曜日の17時までコーラスのクラブでキャンプに行きました。英語の知らない歌を歌うため私にはまだまだ難しいですが、周りの学生がとても優しいため頑張れている状況です。

〈授業について〉

私は IELP(Intensive English Learning Program)の授業とコーラスの授業を履修しています。到着してから 2 日後に IELP のクラス分けのためのテストを受けた結果私は Intermediate クラスになりました。クラスの多くは日本人で、サウジアラビアと韓国、バングラデシュ、ベトナム出身の生徒が他にはいます。日本人同士でも日常会話は英語を使用しています。授業の1週間目は各授業でさらにテストを受けました。文法、リーディング、英作文、リスニングはテストだったのですが、コミュニケーションの授業では、テストとしてプレゼンテーションをやりました。即興のプレゼンテーションだったのでとても緊張して難しかったのですがやりきりました。これから頑張って自信を持って話せるようになりたいと改めて思いました。

〈生活面について〉



私は12人のシェアハウスに住んでいます。日本人5人とアメリカ人7人です。ルームメイ

トはアメリカ人の 1 年生です。シェアハウスにキッチンがあるため、基本的にはお昼を学食で食べて、夜は日本人同士で食事を作ったり、レストランに行ったりしています。毎週土曜日に Walmart というスーパーへのシャトルバスが出ているので、買い出しに行って、なるべく自炊をするように節約しています。ハウスメートとのトラブルもなく快適ですが、12人に対してお風呂とトイレの部屋が 2 つしかないのが残念な点です。基本的な調理道具やベッドシーツや枕、掛け布団なども何もないので、日本から持ってくるか、現地調達です。私たちの場合は、到着したその日にマーケットによってベッドシーツや掛け布団などを調達しました。私の場合はブランケットを圧縮袋に入れて持って行ったので枕のみ買いました。

〈学校の手続きについて〉

こちらに来てから一番大変だったことが学費の支払いや履修登録です。フィンドレーの奨学金と健康保険の料金を引いた額を支払わないといけなかったのですが、支払額がチェックできる Workday というアプリに個人の支払額が反映されるのが遅く、毎日いろんな事務局に行って、聞いて、それでもよく理解できなくて、また行っての繰り返しでした。最終的には自分で計算して、それを銀行振り込みで払いました。フィンドレー大学は事務局が集まっている Old Main という建物がありますが、部門ごとにすべてオフィスがバラバラに配置されているので、授業料のことはこのオフィス、ミールプランのことはまた違うオフィス、奨学金のことはまた別の違うオフィスというようになっているため、とても大変でした。

〈最後に〉

まだ授業が始まったばかりなので、授業のことや課題のことは来月の報告書にはより詳しく書けると思います。残りの期間も積極的に行動していきます。